



データを「読む」



山口県の外国人人口・市町別観光客の動向と 下関駅前エリアの人流変化について

今回の「データを『読む』」では、山口県の外国人人口及び市町別観光客の動向と、＜あさひる統計＞による下関駅前の人流の変化について、㈱日本統計センター様にご寄稿いただきました。山口県の最近の様々な“人の動き”をご紹介します。

●山口県他都道府県との人口推移の比較

はじめに、全国の都道府県と比較した山口県の人口推移を確認します。過去10年間で人口が増加したのは5都県で、増加率1位の東京都の他は首都圏3県と沖縄県であり、地方で減少

が継続する一方、外国人人口は全都道府県で増加しています（増加率1位は熊本県 291.9%）。

山口県の外国人人口比率は1.6%と低ですが、国外からの転入は274.2%増で全都道府県中12位と高く、今後の増加も見込まれます。

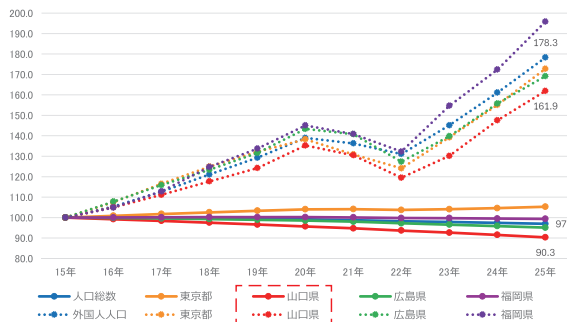
図表 1-1 都道府県別の外国人居住者の状況

	住民基本台帳人口 (千人)[A]			うち外国人人口 (千人)[B]			外国人比率 (%) [B/A]	
	増減率			増減率			増減率	
	15年	25年	25/15年	15年	25年	25/15年	15年	25年
全国 計	128,226	124,331	97.0	2,062.9	3,677.5	178.3	1.61	2.96
東京都	13,298	14,003	105.3	417.4	721.2	172.8	3.14	5.15
山口県	1,432	1,293	90.3	13.1	21.2	161.9	0.91	1.64
広島県	2,869	2,729	95.1	39.2	66.3	169.2	1.37	2.43
福岡県	5,120	5,087	99.4	56.9	111.5	195.8	1.11	2.19

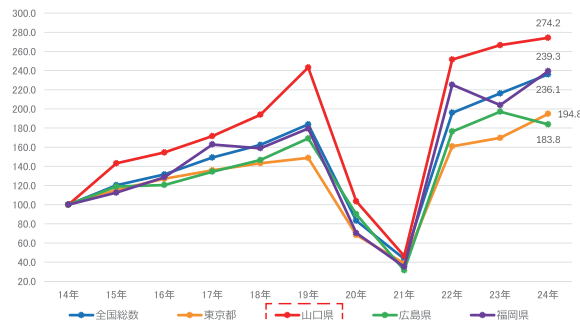
図表 1-2 都道府県別の国外からの外国人転入者の状況

	転入者総数 (千人)[A]			うち国外の外国人 (千人)[B]			外国人比率 (%) [B/A]	
	増減率			増減率			増減率	
	14年	24年	24/14年	14年	24年	24/14年	15年	25年
全国 計	5,639.3	6,013.6	106.6	280.3	661.8	236.1	4.97	11.0
東京都	960.4	1,083.3	112.8	62.8	122.3	194.8	6.54	11.3
山口県	45.2	43.6	96.3	1.3	3.7	274.2	2.98	8.5
広島県	119.6	117.3	98.1	8.8	16.2	183.8	7.35	13.8
福岡県	271.3	285.4	105.2	11.3	27.0	239.3	4.15	9.5

— 人口総数及び外国人人口の推移 (2015年=100) —



— 国外からの外国人転入者数の推移 (2014年=100) —



図表 1-3 山口県の市町別の外国人人口の状況

連番	市町名 <青:郡部>	住民基本台帳人口		人口増減率(過去10年)		外国人人口		外国人比率	増減率(10年前)	転入者総数	外国人比率(10年前)	外国人比率	外国人比率(10年前)	増減率(10年前)
		人	%	人	%	人	%							
		25年	25/15年	25年	25/15年	25年	25/15年							
		人	%	人	%	人	%							
1	下関市	243,422	98.6	88.4	5,234	2.2	1.4	0.7	6,660	993	14.9	4.7	10.2	
2	宇布市	156,438	98.7	91.7	2,514	1.6	1.1	0.5	4,387	333	7.6	3.3	4.3	
3	山口市	185,982	99.2	95.4	2,525	1.4	0.6	0.8	7,575	629	8.3	2.7	5.6	
4	萩市	41,637	97.5	80.7	481	1.2	0.7	0.4	1,098	93	8.5	3.1	3.4	
5	防府市	113,144	99.4	95.8	2,083	1.8	0.7	1.2	5,448	342	6.3	2.1	4.2	
6	下松市	56,637	99.6	100.6	842	1.5	0.5	1.0	2,376	117	4.9	1.1	3.9	
7	岩国市	124,568	98.2	87.9	2,521	2.0	1.1	0.9	4,006	27	0.7	4.9	4.2	
8	光市	48,015	98.3	90.5	541	1.1	0.6	0.6	1,321	42	3.2	0.9	2.3	
9	長門市	30,207	97.7	82.1	558	1.9	1.0	0.9	789	74	9.4	0.6	8.8	
10	柳井市	29,233	98.5	86.4	279	1.0	0.4	0.6	963	14	1.5	1.0	0.4	
11	美祿市	20,921	97.4	78.7	253	1.2	0.6	0.6	593	20	3.4	1.0	2.3	
12	周南市	134,733	98.9	90.8	1,959	1.5	0.8	0.7	4,474	415	9.3	2.4	6.9	
13	山陽小野田市	58,871	99.0	91.1	923	1.6	1.0	0.6	2,102	188	8.9	2.9	6.0	
14	大島郡阿武町	13,537	97.4	74.9	127	0.9	0.5	0.5	448	16	3.6	0.7	2.8	
15	玖波郡和木町	5,695	97.5	88.5	91	1.6	1.4	0.2	497	322	64.8	7.7	57.0	
16	熊毛郡上関町	2,190	96.3	68.2	88	0.2	0.1	0.1	51	1	2.0	0.0	2.0	
17	熊毛郡下関町	14,033	97.2	88.4	88	0.5	0.3	0.3	341	11	3.2	1.5	1.8	
18	熊毛郡平生町	10,748	98.6	84.7	143	1.3	0.5	0.9	373	53	14.2	0.7	13.6	
19	阿武郡阿武町	2,945	97.3	80.7	29	1.0	0.7	0.2	63	1	1.6	2.1	0.5	
20	山口県 計	1,292,956	98.7	90.3	21,195	1.6	0.9	0.7	43,565	3,691	8.5	3.0	5.5	

【資料】：「住民基本台帳人口」

赤：上位5位 青：下位5位

〔山口県の市町の状況〕

- ・下関市は国外からの外国人の転入率が高く、外国人比率も高い。
- ・人口減少の緩やかな防府市、下松市は外国人比率が上昇。
- ・和木町は国外からの外国人転入者が急増。

●山口県の市町別観光客の動向

1) 山口県の調査結果による概況

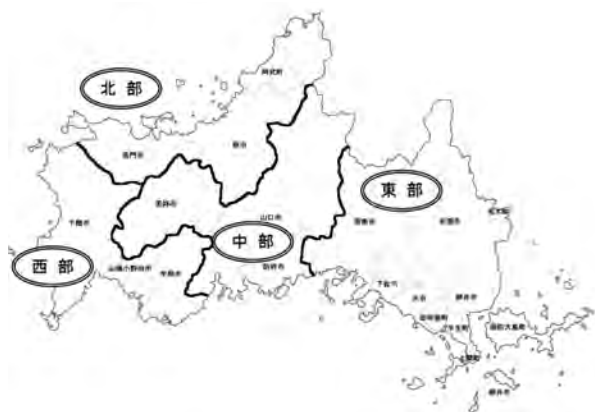
次に、今年7月公表の山口県の2025年観光客動態調査結果より、市町の状況を確認します。

下関市、山口市は人口・観光客数ともに多いですが、周防大島町等は人口に比べ観光客数が

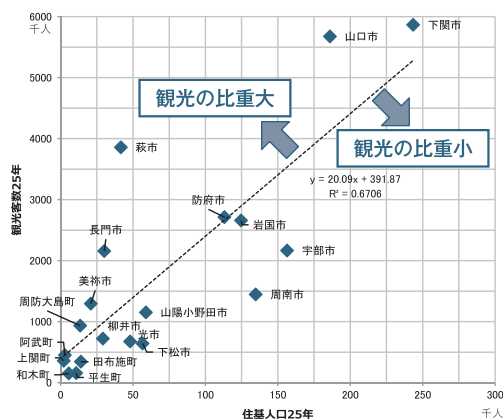
多く、観光が経済を支えているといえます。

発生地別では、岩国市、美祢市は関東からの流入が多く、県内比率が低い広域集客がみられます。また外国人観光客の出身国・地域別では、周防大島町は米国、平生町は欧州、美祢市は台湾が多く、地域による違いがみられます。

図表 2-1 山口県の地域区分図



図表 2-2 山口県の市町村の人口×観光客数の分布



図表 2-3 山口県の市町の人口及び観光客数の状況

連番	地域区分	市町名 ＜青：郡部＞	住民基本 台帳人口 （千人）[A]	観光客数 （千人）[B]	対前年 増減数 （千人）	対前年 増減率 （％）	観光 比率 [B/A]	備考（増減の理由）
1	東部	岩国市	124.6	2,658	109.3	104.3	21.3	山口DCアレーナへの開催や錦帯橋空港利用
2		和木町	5.7	152	22.8	117.6	26.8	各種イベントの実施規模拡大等による増
3		周防大島町	13.5	935	44.8	105.0	69.0	道の駅ササノとわ等の来訪者数の増
4		柳井市	29.2	721	11.2	101.6	24.7	各種イベントの実施規模拡大等による増
5		田布施町	14.0	343	△ 34.0	91.0	24.5	主要観光施設の繁花期天候不順等による減
6	中部	上関町	2.2	360	△ 13.9	96.3	164.2	各種イベントの実施規模縮小等による減
7		平生町	10.7	156	△ 1.9	98.8	14.5	観光施設への来場者の減少による減
8		光市	48.0	675	△ 13.8	98.0	14.1	天候の影響による海水浴客の減少による減
9		周南市	134.7	1,446	120.8	109.1	10.7	各種イベントの実施規模拡大等による増
10		下松市	56.6	641	△ 51.4	92.6	11.3	令和6年度に実施した大型記念イベントの反動
11	北部	防府市	113.1	2,713	124.0	104.8	24.0	山口DCアレーナへの開催による増
12		山口市	186.0	5,675	321.8	106.0	30.5	「地球の歩き方」発行や山口DCアレーナへの開催、 五重塔工事完了と新規施設の開業等による増
13		美祢市	20.9	1,295	△ 23.8	98.2	61.9	大型イベント未実施等による減
14		秋市	41.6	3,858	△ 35.5	99.1	92.6	天候等の影響による減
15		長門市	30.2	2,157	41.0	101.9	71.4	山口DCアレーナへの開催やなごみプレミアム宿泊券 の影響による増
16	西部	阿武町	2.9	452	△ 41.3	110.0	153.6	道の駅等の来訪者数の増
17		下関市	243.4	5,865	9.1	100.2	24.1	各種イベントの実施規模拡大等による増
18		宇部市	156.4	2,167	282.1	115.0	13.9	各種イベントの実施規模拡大等による増
19		山陽小野田市	58.9	1,152	56.5	105.2	19.6	各種イベントの実施規模拡大等による増
山口県計			1,293	33,421	1,010	103.1	25.8	

赤: 上位5位 青: 下位5位

[山口県の市町の状況]

- ・和木町は観光客数の対前年増加率1位。
- ・北部は3市町ともに人口に占める観光客の比率が高い。
- ・下関市は観光客数が1位だが、対前年増減率は横這い。

図表 2-4 観光客数の発生地別構成比

			発生地別の構成比（％）										
連番	地域区分	市町名 ＜青：郡部＞	観光客 総数 （千人）	県内	県外							北海道・東北	その他
					中国	四国	九州・沖縄	近畿	＜1位＞	2位：＜3位＞	関東		
1	東部	岩国市	2,658	26.7	21.7	1.9	9.6	9.1	4.4	13.2	0.7	12.7	
2		和木町	152	38.1	36.3	1.6	4.8	6.0	2.8	5.8	0.9	3.6	
3		周防大島町	935	63.1	27.2	2.7	3.2	1.2	0.2	1.0	0.1	0.3	
4		柳井市	721	75.3	18.6	1.5	1.8	0.9	0.1	1.1	0.4	0.3	
5		田布施町	343	98.9	0.9	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
6	中部	上関町	360	70.2	17.8	1.3	0.5	5.6	0.9	3.0	0.5	0.4	
7		平生町	156	89.7	7.2	0.8	1.4	0.4	0.1	0.3	0.0	0.1	
8		光市	675	78.9	11.9	0.6	4.0	1.7	0.6	1.3	0.0	1.0	
9		周南市	1,446	72.6	2.2	0.6	1.5	1.6	1.0	1.8	0.3	18.5	
10		下松市	641	71.1	19.3	0.8	3.1	2.4	0.4	2.7	0.1	0.0	
11	北部	防府市	2,713	59.1	25.0	3.1	8.2	1.5	0.5	1.2	0.6	0.7	
12		山口市	5,675	71.5	11.3	1.2	6.0	4.0	1.1	3.0	0.5	1.4	
13		美祢市	1,295	86.4	10.6	2.6	10.9	9.7	6.2	11.6	2.5	9.3	
14		秋市	3,858	58.6	12.6	0.8	7.2	7.2	3.9	9.9	0.8	0.3	
15		長門市	2,157	42.3	14.8	1.5	14.7	7.7	3.4	9.1	0.5	8.8	
16	西部	阿武町	452	64.7	21.7	1.7	10.1	0.3	0.0	0.7	0.0	0.8	
17		下関市	5,865	45.0	8.0	1.3	25.1	5.7	2.2	5.2	0.4	7.2	
18		宇部市	2,167	85.3	3.0	0.5	2.3	0.6	0.3	1.3	0.2	6.5	
19		山陽小野田市	1,152	79.5	4.2	0.3	12.6	0.8	0.4	0.7	0.1	1.9	
山口県計			33,421	58.9	12.8	1.4	10.2	4.6	1.9	5.1	0.5	4.7	

※1.<県内>赤: 上位5位 青: 下位5位 ※2.「その他」は外国人及び居住地不明者

[資料: 「R7年版 山口県の宿泊者及び観光客の動向」(山口県観光スポーツ文化部観光政策課)]

図表 2-5 外国人観光客数の出身国・地域別構成比

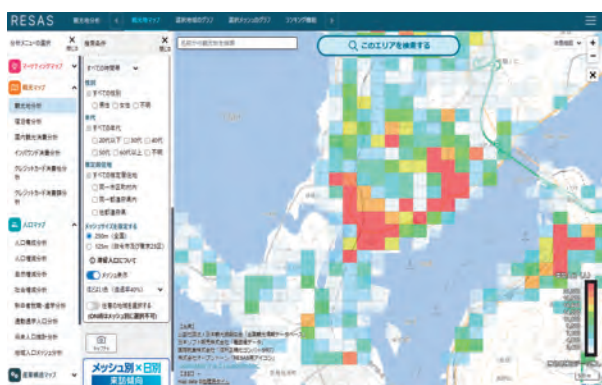
連番	地域区分	市町名 ＜青:郡部＞	外国人 観光客 数(人)	出身国・地域別の構成比(%)							＜1位:ビザ 2位:橙＞	
				韓国	台湾	中国(本土)	香港	米国	中南米	欧州	その他	
1	東部	岩国市	128,302	3.6	25.0	0.9	1.1	8.8	12.6	1.7	46.3	
2		和木町	5,490	4.2	26.0	3.8	4.4	25.9	3.0	6.6	26.0	
3		周防大島町	2,415	4.8	1.8	4.8	2.1	76.6	0.2	0.6	9.2	
4		柳井市	1,605	1.7	1.0	2.2	0.0	5.0	0.2	1.4	88.4	
5		田布施町	24	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
6	中部	上関町	1,378	5.0	0.8	0.8	5.0	8.4	0.0	26.5	100.0	
7		平生町	119	5.0	0.8	0.8	3.0	14.2	2.2	9.1	52.3	
8		光市	823	14.9	3.9	9.0	3.3	14.2	2.2	9.1	43.4	
9		周南市	3,656	9.2	5.0	7.6	1.5	10.4	6.6	7.4	52.3	
10		下松市	131	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
11	北部	防府市	18,745	36.6	9.4	4.7	0.7	8.1	1.4	2.1	37.0	
12		山口市	70,628	34.6	23.1	6.5	0.6	5.4	0.3	5.0	24.4	
13		美祢市	27,577	40.2	41.2	4.1	3.7	4.0	0.0	1.8	4.8	
14		秋田市	9,288	20.5	24.2	5.9	7.3	9.2	0.7	16.9	15.4	
15		長門市	23,365	40.2	30.4	2.2	7.2	8.0	0.1	3.6	8.5	
16	西部	阿武町	158	0.0	0.0	0.0	0.0	13.9	0.0	7.6	78.3	
17		下関市	45,696	56.6	5.9	8.6	2.6	3.8	0.3	2.4	19.7	
18		宇部市	21,059	76.1	1.1	7.7	0.4	1.2	0.3	1.4	11.8	
19		山陽小野田市	17,567	93.0	1.3	2.4	0.0	0.3	0.0	1.3	1.8	
20		山口県計	378,026	31.0	20.0	4.1	1.9	7.0	4.6	3.0	28.4	

※1.<県内>赤: 上位5位 青: 下位5位 ※2.「その他」は国籍不詳を含む

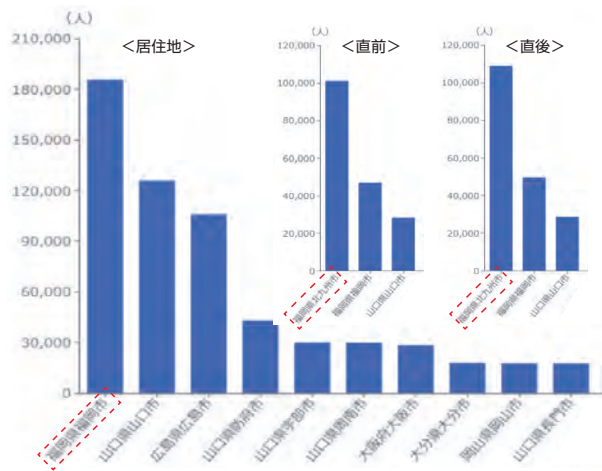
2) RESASによる概況 (ex. 下関市)

観光客の動向は、経済産業省と内閣官房が提供するRESASで詳細分析が可能です。下図は下関市のデータの一部ですが、延べ宿泊者数の居住地は、1位広島県7.6万人、2位福岡県7.0万人であり、宿泊者数では広島県が、近接する福岡県より多くなっています。

図表 3-1 RESASの観光マップの表示画面



図表 3-3 観光入込人数 / 日本人 (2025年: 下関市)



[資料: 地域経済分析システム「RESAS」(内閣府地方創生推進室・経済産業省)]

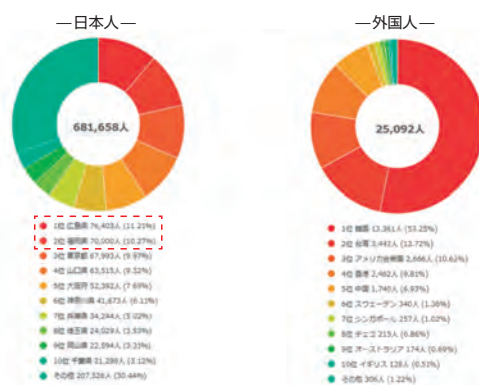
●下関駅前エリアの人流の変化

1) あさひる統計について

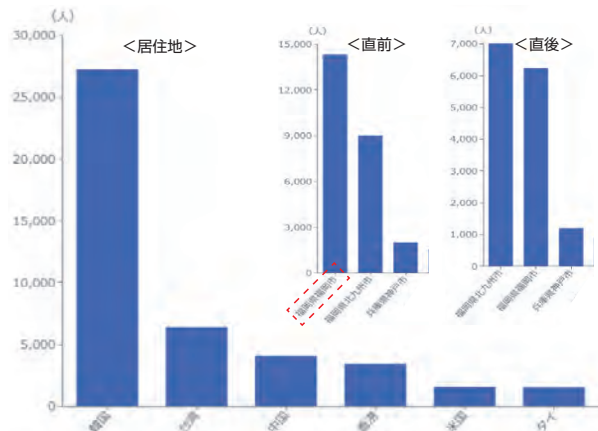
本稿では、株式会社楽しいチリビジが位置情報データから小地域(125mメッシュ)毎の流動人口を集計・編集した、推計データの<あさひる統計>を使用します[詳細は右記ご参照]。

また、今年の機能更新で追加されたクレジット消費地・額分析では、選択地域への入込前後の経路(滞在地)も把握可能です。下関市を訪問する日本人の居住地は福岡市が1位ですが、直前・直後とも北九州市が1位で、北九州市と合わせた訪問が主流です。一方、外国人は空港・港利用により直前では福岡市が1位です。

図表 3-2 延べ宿泊者数の居住都道府県別構成比 (2025年: 下関市)



図表 3-4 観光入込人数 / 外国人 (2025年: 下関市)



※ 1. 図表 3-3、4 (は地域別に多い順に抽出表示

※ 2. 図表 3-4 の居住地は国・地域別、他は市区町村別

[あさひる統計の概要]

- ・『あさひる統計』(商標登録: 株式会社楽しいチリビジ、出典: 株式会社ログウォッチャー)
- ・平日休日別×時間帯(3時間毎: 0-3時・～・21-24時)別の推計滞在人口(外国人含む)
- ・四半期更新(年・四半期平均、過去2年分)

* 上記は標準版。オプションでは月別・週別、1時間単位など任意に時間設定集計が可能。

* ㈱日本統計センター提供・運営のサイトで閲覧可能。

「47maps」で検索 ⇒ <https://miena.nsc-idc.jp/>

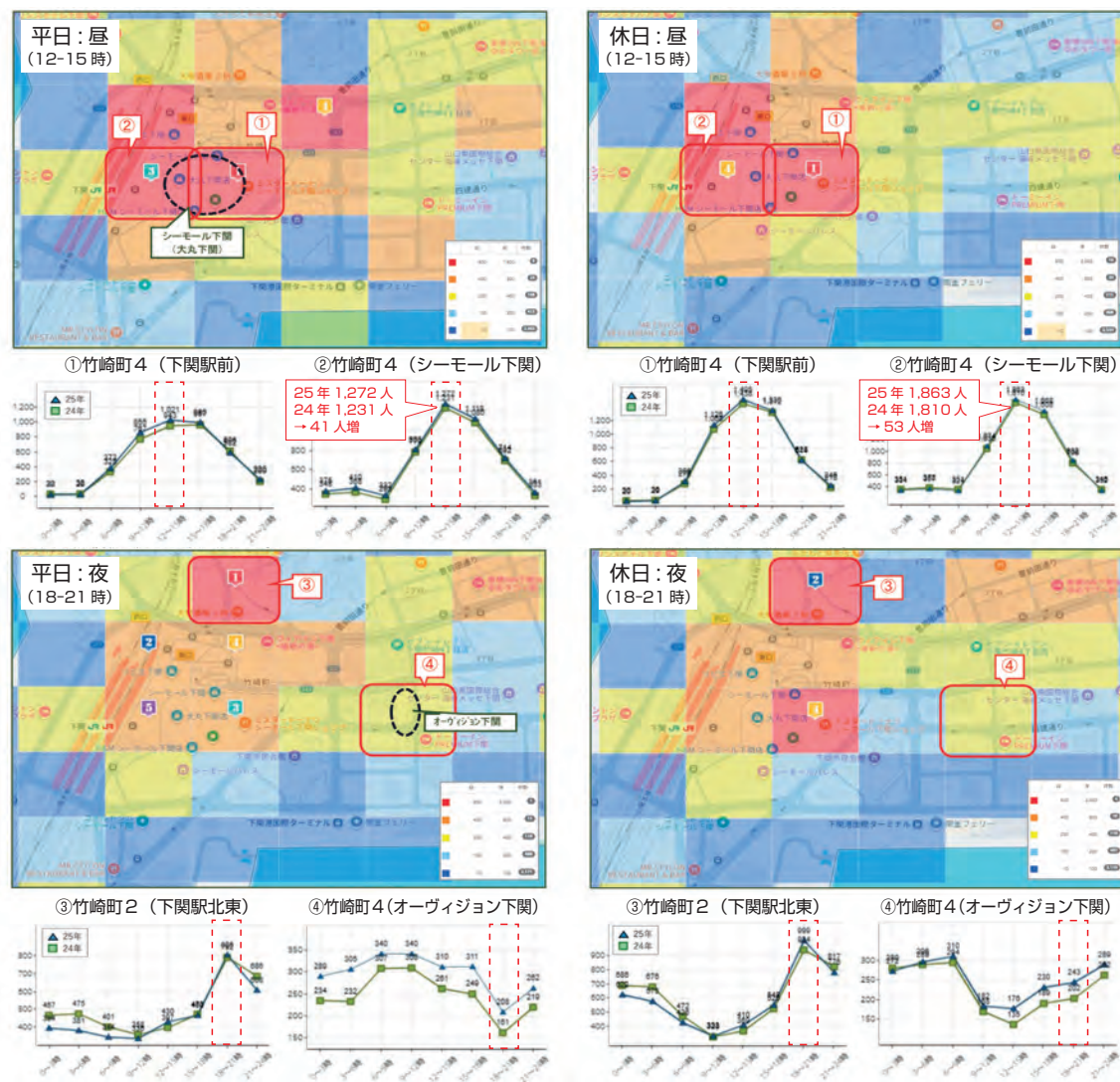
2) 下関駅前エリアの人流の変化

JR 下関駅に直結する「シーモール下関」の核店舗「大丸下関店」が来年 8 月末閉店予定です。減収の継続が要因のようですが、周辺の滞在人口は対前年比で平日・休日とも微増であり、人流面では衰退しておらず、地域活性には大型商業施設に依存しない新たなまちづくりが求め

られています。

また下図の④は、昨年 1 月竣工の 19 階建 115 戸の高層マンション（オーヴィジョン下関ザ・プライム）のある地点で、完売済みによる人口増が確認されます。下関市では、リゾナーレ下関等の宿泊・レジャー施設再整備の動きもあり、まちの再生が期待されます。

図表 4-1 下関駅前の滞在人口マップ (2025 年 4 月 -2026 年 3 月の年間平均)



[資料：あさひる統計]

●最後に

今回は居住・観光・滞在人口の 3 点から山口県の人動きを検証しました。地方でもあらゆる局面で外国人の影響が拡大しており、今後の地域再生には外国人の調査研究が不可欠です。

(株)日本統計センター企画推進部 青山武夫)

【株式会社日本統計センター】

<https://www.nihon-toukei.co.jp/>

創立：1961 年 5 月

本社所在地：福岡県北九州市小倉北区

業務内容：調査・シンクタンク、統計データベース、マーケティングシステムの三位一体のトータルサポート

